

感染性胃腸炎の集団発生について

早良区内の高齢者施設において、複数の入居者、職員が嘔吐、下痢等の症状を呈しているとの報告があり、行政による検査の結果、入居者3名と職員1名からノロウイルスが検出された。

(1) 経緯

4月26日(日) 1名の職員に嘔吐の症状が出現。

以後、複数の入居者、職員に嘔吐、下痢、発熱等の症状が出現。

5月3日(日) 福岡市保健所が有症状者の発生状況を確認するとともに、感染拡大防止及び入居者等の健康観察の実施を指導した。

5月5日(火) 行政による検査の結果、ノロウイルスが検出された。

(2) 有症状者の区分 ※()内の数は、有症状者のうち、ノロウイルスが検出された人数

入居者	性別	60歳		70歳		80歳		90歳		計	
	男	2	(0)	1	(1)	1	(1)	2	(0)	6	(2)
	女	0	(0)	2	(1)	2	(0)	4	(0)	8	(1)
	計	2	(0)	3	(2)	3	(1)	6	(0)	14	(3)

職員		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		計	
	計	2	(0)	1	(0)	3	(0)	3	(1)	1	(0)	10	(1)

(3) 有症状者の発症状況

月日	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	計
人数	1	0	4	4	4	6	2	3	0	0	0	0	0	24

(4) 症状

嘔吐、下痢、発熱

1名が入院、その後死亡(死因と感染性胃腸炎との因果関係は不明)

(5) 行政対応

- ① 施設への感染予防及び拡大防止のための指導を実施。
- ② 入居者及び職員の健康調査及び健康観察を実施するよう施設へ指導。

【お願い】 患者及び家族等のプライバシー保護については、特段のご配慮をいただきますようお願いいたします。
本件に関するお問合せは、開庁時間内をお願いいたします。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎とは

【感染経路】

- ・ノロウイルスに感染した者のふん便や吐物の不適切な処理により、手指等を介して二次感染を引き起こす。
- ・ノロウイルスに汚染された二枚貝などを生あるいは不十分な加熱で食べるなどにより、感染する。

【主な症状】

- ・下痢、吐き気、嘔吐、腹痛、発熱(38℃以下)です。

【予防方法】

- ・調理をする時、トイレの後や食事の前にはよく手を洗うこと。
- ・手洗いの後、使用するタオル等は清潔なものを使用すること。
- ・調理台や調理器具は、85℃以上で1分間の加熱または次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)による消毒が有効。
- ・二枚貝などを調理する場合は、十分に加熱(食品の中心の温度が85℃~90℃で90秒以上)してから食べること。湯通し程度の加熱ではウイルスは死なない。